

南三陸ネイチャーセンター

2020年1月ついに復活!!

ことはじめ



当時の南三陸ネイチャーセンター



当時の秘蔵映像公開

立ち上げ当時を振り返ってみよう!!

2019 **12.19** [18:30 開場] (木) 19:00 - 20:30

会場 南三陸町生涯学習センター
第一研修室にて [南三陸町志津川字新井田 165 番地 1]

参加費 **入場無料** 主催：南三陸ネイチャーセンター友の会
令和元年 南三陸町おらほのまちづくり支援事業補助金 採択事業

講師

一般社団法人サステナビリティセンター

太齋彰浩 (だざい あきひろ)

民間機関の研究者を経て、フィールド密着型の教育を志し、2000年に南三陸へ移住。箱もの施設再生により、年間数千人の交流人口創出。東日本大震災後は、町職員として壊滅した水産業の復興に奔走するとともに「循環型でレジリエントなまちづくり」を目指した、南三陸町バイオマス産業都市構想の実現に貢献。2018年4月より現職。「森里海ひと いのちめぐるまち」の実現を目指す。

いよいよ2020年1月、戸倉公民館2階に自然環境活用センター（通称＝ネイチャーセンター）が復活します。

ネイチャーセンター友の会が

再興を願って活動してきたネイチャーセンターとは？

毎年二千数百名が訪れ、ラムサール条約湿地登録や教育旅行受け入れ、ダイビングポイント開発の原動力となった全国でも希有な施設。

いったいどんないきさつで誕生し、どんな活動を行ってきたのか？

南三陸ネイチャーセンター友の会の会員で、ネイチャーセンターの立ち上げから再建まで関わってきた太齋彰浩氏（現サステナビリティセンター代表理事）に、当時の秘蔵映像を交え、あらためて詳しくお話をお聞きしたいと思います。